

数理データサイエンス・AI 教育プログラム「データサイエンス概論」

自己点検報告書(2025)

1. プログラムの目的・修了要件

【目的】

今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AI を、日常の生活や仕事等の場で使いこなすことができる基礎的素養を主体的に身に付けることを目的として令和4年度に開設した。

【修了要件】

「データサイエンス概論」(2単位)の単位を修得すること。

【授業概要】

この授業では、数理・データサイエンス・AI を実践するにあたって必要となる知識の概論および理論の基礎を学習する。身近なトピックを中心に切りあげ、グループワークや演習を通して、数理・データサイエンス・AI の基礎と、その応用事例、社会との関わりについて学習する。

2. プログラムの現状評価

本年度の実施状況について意見交換を行い、以下の課題が共有された。今後の改善に向けて対応していくこととした。

(1) オンデマンド授業からの脱落について

次のような要因により、出席が継続できず単位を落とす履修者が一定数いるとの意見が出された。

- ・ 初回ログインにつまずき、受講から離脱してしまう。
- ・ Excel 関数や統計の内容が十分に定着していない。
- ・ LMS 上の「データ提出」の操作自体につまずく。
- ・ スマートフォンで提出しようとして操作に支障をきたす。

対応として、初回に履修者を集合させ、ログイン方法、データ提出、受講方法等を説明するオリエンテーションを実施することで、改善が期待できるとの意見が出された。集合のタイミングとして、「大学入門演習」等のゼミの時間を活用している学科もあることが共有された。

また、集合時はPCを使用させることが望ましいとの認識が示された。次年度からはノートPC必携化となるため、デバイスに起因する課題は一定程度解消される見込みである。

(2) 出席率の低下への対応について

欠席者情報をAAに共有し、AAから個別に指導、声かけを行っている学科があることが報告された。こうした取組が、履修継続の支援として有効である可能性が共有された。

(3)授業評価アンケートの回答率向上について

回答率が低い学科においては、最終授業前に回答を呼びかけることとした。

3. 今後の実施方法・体制について

以下の内容を確認し、プログラムの運営を改善していくことを確認した。

(1) 次年度もオンデマンド形式で実施する。

(2) 今年度と同様に、各学部学科の専任教員が分担して担当する。

(3) 各学科の実情に応じて、初回の授業時等の適切なタイミングに、履修者を集合させたオリエンテーションを実施する。